様式第2号（第1条の4関係）　　（表面）

※記入例※

父母等で所得の高い方が請求者となります

被用者　：会社員等の厚生年金・共済年金加入者
非被用者：自営業や専業主婦等の国民年金加入者や年金未加入者

児童手当　認定請求書

登別市長　殿

									※受付確認年月日
								・	令和　・　・
請求者	①（ふりがな）	のぼりべつ　たろう	②性別	男・女	③生年月日	昭和・平成　1・1・1	※認定・却下年月日	※支給開始年月	
	氏名（法人名等）	登別　太郎	④職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者	⑤配偶者	有・無	令和　・　・	令和　年　月 （令和　年　月分）	
	⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒059-0000 登別市中央町0丁目0番地0　電話　000（　0000　）0000			1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください） 令和6年1月1日に現住所と異なる住所地にいた場合に記入			
	⑦個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⑧請求者の加入している公的年金制度の種別	ア．厚生年金保険　イ．国民年金　ウ．その他（　　） ※以下の共済組合の組合員 （　）私立学校教職員共済 （　）国家公務員共済			⑨所得の状況	令和　年分所得額 （請　円 （配偶者）　円	
配偶者等	⑩（ふりがな）	のぼりべつ　はなこ	⑫生年月日	昭和・平成　1・1・1	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者に○印	控除対象配偶者 同一生計配偶者	⑮個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	氏名	登別　花子	⑬職業	ア．被用者 イ．公務員					
	⑪住所（⑥と異なる場合）				1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください） 令和6年1月1日に現住所と異なる住所地にいた場合に記入			

わかる範囲で記入してください。
※審査時に確認できます。

記入なし

請求者の住所と異なる場合に記入

養育している場合→有
養育していない場合→無

父母が大学生相当年齢の児童の生計費を全部又は一部負担している場合→有
負担しておらず、独立している場合→無

⑯児童の兄姉等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）

氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	※算定対象の場合に○印
登別　一郎	子	平成 15・1・1	有・無	有・無	同・別	令和　年　月	
登別　二郎	子	平成 18・1・1	有・無	有・無	同・別	令和　年　月	

[注意]
⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。
（⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。）

⑰　児　童

氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	※児童との関係	※第3子以降の	※3歳未満の	※左記以外の	※手当月額
登別　三郎	子	平成・令和 20・1・1	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月		・父母指定者 ・同居父母				円
登別　一子	子	平成・令和 5・1・1	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月	○○市○○町○丁目○番地○					
		成 和			同							
		成 和　・　・	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月		・同居父母				円

上記「第3子以降算定額算定対象」に該当する場合は、「監護相当・生計費の負担についての確認書」を忘れずに提出してください。

0歳～高校生年代までの監護する子どもを記載してください。
（令和6年度の場合は、H18.4.2以降に生まれた子ども）

請求者が父母の場合→同一
請求者が父母以外の場合→維持

児童と別居している場合は「別居監護申立書」の提出が必要です。

【添付書類】
①請求者の健康保険証の写し
②請求者名義の通帳またはキャッシュカードの写し
③「（別紙）監護相当・生計費負担についての確認書」
※児童の兄姉等（大学生年齢相当）がいてその人を含めて3人以上の子どもがいる場合のみ必要です。
④「（別紙）別居監護申立書」
※0歳～高校生年代の児童が請求者と住民票上別居している場合のみ必要です。

⑱支払希望金融機関

名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義	※合計月額
○○　銀行・金庫・信組・農協・漁協	普通・当座	0 0 0	○○支店	0 0 0 0 0 0 0	ノボリベツ　タロウ	円

請求者以外の口座は指定できません。

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。　※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。